

～令和2年度を振り返って～

今年度最終号の会報「事務 Tea Time」第62号に、会長・副会長からこの1年を振り返ってのあいさつをいただきました。

会長 新宮 利浩 寒河江市立陵東中学校

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の対応で始まり、コロナ禍での制限された活動となりました。昨年度会長を引き受けるにあたり、「世代交代期の協議会活動に新しい方向性を示し、次の世代につなげたい」との思いで臨みましたが、思いが果たせないまま、活動のまとめをしなければならない時期となってしまいました。

今年度は、夏季研修会を始め各大会も開催見送り若しくは集まらない形での開催となりました。しかし、何とか皆様の研修の機会を確保したいと専門部が協力して各地区の実践や研修資料、個人の実践を募集集約し、ホームページより配信し、いつでも活用することができるようにしました。また新しい形としてWebセミナーを急遽企画しました。基調報告、改定版「やまがた花笠プラン」の解説、東北大会秋田大会集録に掲載された研究部のレポート、そして前述の実践事例をアップし、12月1日より配信することができました。今後も続くと思われるコロナ禍での協議会活動の一つの形をお示しできたと思っています。

今年度お話する機会のなかった（若い）皆様に一言。「皆さんの先輩の力はたいしたものですよ。分からないことは何でも自分で抱え込まず気軽に聞いてみてください。きっと答えを導き出してくれます。聞くことは決して恥ずかしいことではありません。ぜひ先輩を頼ってください。」

最後に、来年度から井上新会長による新しい体制での協議会活動となります。皆様の更なるご協力をよろしくお願いいたします。

❄️❄️❄️❄️❄️ **副会長 井上 元 山形市立第一中学校**

私が協議会活動を進めていく上で大事にしている基本姿勢は、「何のために何をするのか」です。今年度はコロナ禍で様々な制限があり、例年どおりに協議会活動を進めることができなくなったため、「何をどのようにするのか」を新たな基本姿勢としてきました。コロナ禍で気づいたことは「方法は一つじゃない」、そして「しなくても良いことはしないで済む」ということです。今後は、「どんな方法が最善で有効なのか」を考えていかなければならないと思っています。

来年度は夏季研修会と秋季セミナー、そしてブロック研究会が集まって行えるようになることを願っています。集まってしかできないことは何か、集まるからこそできることは何かを考えながら、学校事務職員にしかできないことは何か、学校事務職員だからこそできることは何かを改めて考えているところです。チームのみんなが効果を得るために必要なのは、無理をしないで、させないで、新たなできることを生み出すことだと思います。

❄️❄️❄️❄️❄️ **副会長 成澤 早苗 鶴岡市立藤島小学校**

今年度はコロナ禍で、例年開催される出張や研修会は軒並みカット、リアルに現場でその時につながるということがいかに大切かを痛感している毎日です。

私が事務職員として採用された40年ほど前、月1回開催される給与報告書審査会や旅費請求書審査会は、分からないことを直接聞ける貴重な機会でした。初めての旅費請求書審査会でたくさんの付箋をつけられて涙し、翌日近隣の先輩の自宅に押しかけ直接記入の仕方を聞いた苦い思い出もあります。私が今この仕事を続けていられるのはこうしたつながりの中で支えてもらったからだをつくづく思います。

オンラインでのつながりも必要、同時にリアルなつながりも大切。これからの事務職員が生き残るために、両方バランス良く組織の中に取り入れられたらと思う今日この頃です。

❄️❄️❄️❄️❄️ **副会長 山路 弥 川西町立小松小学校**

今年度の協議会活動は非常に制限されることが多く、不完全燃焼の思いを募らせた年となってしまいました。皆様も同じ思いで居られたと存じます。それだけ近年の当協議会を始めとする諸研究団体の研修活動が活発に行われ、定着していたことの裏返しですので、良い気づきを得られた！としまししょう。また学校事務の連携・共同実施のモデル事業への取り組みが、県内各地区で活発に行われたことも見逃せません。これまで自己流でやってきた仕事を、共同実施グループ校全体を見渡して進める姿に変遷していること。こういった取り組みの積み重ねが大きな財産であり、共同学校事務室につながると確信しました。

来年度の夏季研修会で皆様とお会いし、今年度蓄えた知力を感じ取ることができたらとても幸せです。令和2年度は自己啓発の年。それを決して無駄にしなかったことを証明してみせましょう！

最後になりましたが、会員皆様のご協力に、衷心より感謝申し上げます。



新規採用事務職員紹介



今年度の新規採用事務職員（16名）の皆様を、第61号に引き続き今号でも紹介します。今回は、8名の方々に自己紹介をいただきました。

- ①名前 ②所属 ③出身地 ④趣味・特技 ⑤好きな食べ物 ⑥好きな言葉
⑦10か月間過ごして… a.嬉しかったこと b.困ったこと c.びっくりしたこと

- ① 鈴木 舞（すずき まい）
② 山形市立第一中学校
③ 上山市
④ 映画鑑賞、筋トレ
⑤ ラーメン、洋菓子
⑥ しない後悔よりする後悔
⑦ a.生徒から顔を覚えてもらえて、話しかけてもらえるようになったこと。
b.すべてが初めての業務なので、覚えることや調べながらしなければいけない作業がたくさんあったこと。
c.事務職員の仕事の幅が想像以上に広がったこと。

- ① 鈴木 ひろか（すずき ひろか）
② 山形市立第十中学校
③ 上山市
④ 漫画を読むこと、音ゲー（音楽ゲーム）、歌うこと
⑤ 甘いもの、中華料理
⑥ 戦わなければ勝てない
⑦ a.様々な仕事を少しずつ覚えられるようになったこと。
b.職員駐車場が狭いこと。
c.恩師と職場が同じだったこと。



- ① 遠藤 彩（えんどう さやか）
② 天童市立天童中部小学校
③ 山形市
④ 駅伝を観ること
⑤ もつ煮
⑥ 笑う門には福来る
⑦ a.事務手続きをした先生に、「嬉しい」という言葉をいただいたこと。
b.自分にとって身近な出来事ではない事例の仕事が、なかなか理解し難いこと。
c.多くの人、多くの機関と密接にかかわり合いながら仕事をしていくこと。

- ① 渡邊 美海（わたなべ みなみ）
② 天童市立高揃小学校
③ 山形市
④ 映画鑑賞
⑤ イタリアン料理
⑥ 日進月歩
⑦ a.先輩事務職員の方々や学校の先生、子どもたちとの素敵な出会いがたくさんあったこと。
b.冬の通勤時間が1時間以上かかること。
c.事務の仕事の幅広さ。

- ① 高橋 花奈（たかはし かな）
- ② 寒河江市立陵南中学校
- ③ 山形市
- ④ ショッピング、登山
- ⑤ 牛タン、えび
- ⑥ 感謝
- ⑦ a.生徒たちが明るく接してくれること。いつも元気を分けてもらっています。
b.分からないことが多かったこと。
c.陵南中に中庭があり、そこで芋煮会や焼き芋をすること。



- ① 櫻田 由子（さくらだ ゆうこ）
- ② 朝日町立大谷小学校
- ③ 西川町
- ④ 映画鑑賞
- ⑤ ナポリタン
- ⑥ 期待に応えて予想を裏切る
- ⑦ a.プリンターの修理を業者に依頼し、綺麗に印刷できるようになり、先生方に感謝されたこと。
b.事務職員が学校に一人なので、新採で分からないことばかりで不安。
c.消耗品などが普通の会社では注文しないような学校ならではの物が多いこと。

- ① 佐藤 愛架（さとう あいか）
- ② 河北町立谷地西部小学校
- ③ 鶴岡市
- ④ 映画・音楽鑑賞、体を動かすこと
- ⑤ 餃子、シュークリーム
- ⑥ 努力に勝るものなし
- ⑦ a.子どもたちの元気な声を毎日聞いて、子どもたちが「先生」と呼んでくれること。
b.村山地方の方言が耳に慣れず、電話で聞き取れなかったこと。今はだいぶ慣れてきました。
c.仕事の幅の広さと先輩事務職員の方々の知識の豊富さ。私も先輩方のようになるために頑張ります！

- ① 山科 愛未（やましな あいみ）
- ② 村山市立袖崎小学校
- ③ 新庄市
- ④ ネコ動画鑑賞、ライブ鑑賞
- ⑤ スンドゥブ、チョコレート
- ⑥ 日進月歩
- ⑦ a.いつも事務職員の先輩方に仕事を教えていただけること。
b.定期的に猿と蛇が学校に侵入してくること。
c.事務職員の先輩方の知識の幅や多さ。将来は先輩方のようになれるよう頑張りたいと思います。



ねっとわ〜く from 戸沢村

戸沢村は、最上郡の西部にある自然豊かな村です。村の中央を最上川が東西に流れています。そんな戸沢村の素晴らしいところをご紹介します。



最上峡



最上川舟下りでは、船頭さんの舟歌を聞きながら四季折々の景色を楽しむことができます。

特産パプリカ



戸沢村は、パプリカの生産が盛んです。学校で育てたパプリカも色鮮やかに実りました。ねっとわ〜くの題字もパプリカ色です。

高麗館（道の駅）



国道47号線沿いにあり、最上川を一望できる道の駅です。異国情緒あふれる建物で、韓国の物産館や食堂もあります。

幻想の森



国道47号線から山道を進むと、巨木群が現れます。JR 東日本のCM 撮影地にもなりました。



令和3年度義務教育学校「戸沢学園」開校

戸沢村には現在、施設一体型小中一貫校として戸沢小学校・戸沢中学校があります。小中一貫教育充実のため、令和3年4月より義務教育学校「戸沢学園」として開校します。ただいま開校準備中です！

